

現状把握と効果検証に向けた 今後の分析方針

1. 観光客の来訪動向と行動特性の把握
2. 東山地域における交通実態の重点分析
3. 観光バス駐車場の現状整理と分析の方向性

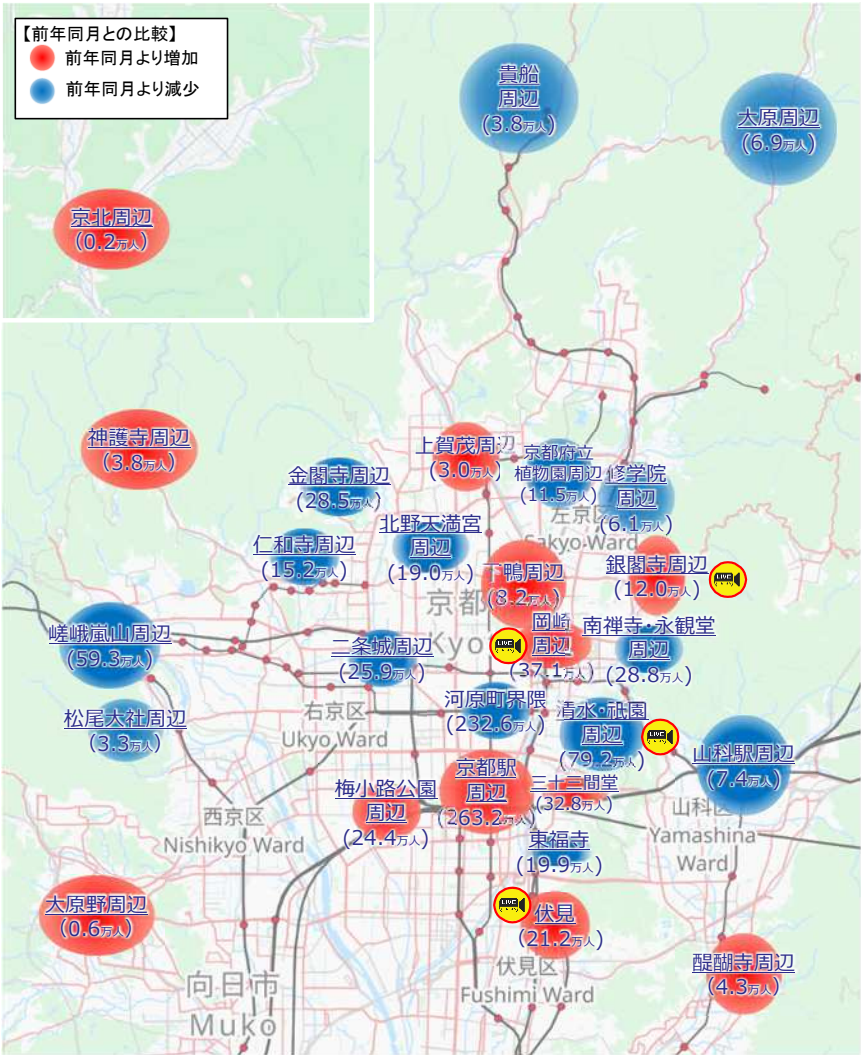
1. 観光客の来訪動向と 行動特性の把握

人流統計データを活用した観光動向の把握

- 訪日外国人を含む観光客の来訪状況について、今年度も継続的にモニタリングを実施し、動向を的確に把握する。
- あわせて、京都市内で展開される各種施策の影響や、社会情勢の変化等を検証し、今後の取組みに反映する。

■訪日外国人を含めた観光客の来訪状況（分析例：R5とR6の比較）

※統計処理・補正した推計値



総数 順位	観光地	①国内観光客		②訪日外国人		総数(①+②)		訪日外国 人比率
		観光客数 (万人)	前年同月 との 増減人数 (万人)	観光客数 (万人)	前年同月 との 増減人数 (万人)	観光客数(万人)	前年同月 との 増減人数 (万人)	
1	清水・祇園周辺	43.1	-13.7	36.1	4.0	79.2	-9.7	55%
2	嵯峨嵐山周辺	39.4	-8.8	19.8	-1.3	59.3	-10.0	39%
3	岡崎周辺	31.4	0.2	5.7	1.2	37.1	1.4	15%
4	三十三間堂	24.3	1.6	8.4	2.6	32.8	4.2	25%
5	南禅寺・永観堂周辺	22.1	-5.4	6.7	0.8	28.8	-4.6	29%
6	金閣寺周辺	18.9	-2.0	9.5	1.9	28.5	-0.1	36%
7	二条城周辺	22.1	-4.3	3.8	0.9	25.9	-3.5	18%
8	梅小路公園周辺	21.8	0.8	2.6	0.1	24.4	0.9	10%
9	伏見	11.7	-2.2	9.5	3.3	21.2	1.0	50%
10	東福寺	16.5	-2.5	3.4	1.0	19.9	-1.5	19%
11	北野天満宮周辺	18.1	-3.1	0.9	-0.0	19.0	-3.1	6%
12	仁和寺周辺	14.1	-1.6	1.1	0.2	15.2	-1.3	8%
13	銀閣寺周辺	8.7	-0.4	3.3	0.9	12.0	0.5	28%
14	京都府立植物園周辺	11.2	-0.5	0.3	0.0	11.5	-0.4	3%
15	下鴨周辺	7.5	0.1	0.7	0.3	8.2	0.4	8%
16	山科駅周辺	7.3	-0.3	0.2	-0.0	7.4	-0.4	2%
17	大原周辺	4.9	-1.0	2.0	0.5	6.9	-0.5	34%
18	修学院周辺	5.7	-0.7	0.4	0.0	6.1	-0.7	7%
19	醍醐寺周辺	4.1	0.1	0.2	0.1	4.3	0.2	4%
20	貴船周辺	3.0	-0.3	0.8	-0.0	3.8	-0.3	22%
21	神護寺周辺	3.1	-0.1	0.7	0.2	3.8	0.1	19%
22	松尾大社周辺	2.9	-0.2	0.5	0.1	3.3	-0.1	15%
23	上賀茂周辺	2.9	0.1	0.1	0.0	3.0	0.1	3%
24	大原野周辺	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	4%
25	京北周辺	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0%

※ は、11月末までに混雑状況カメラの新規設置が完了した箇所

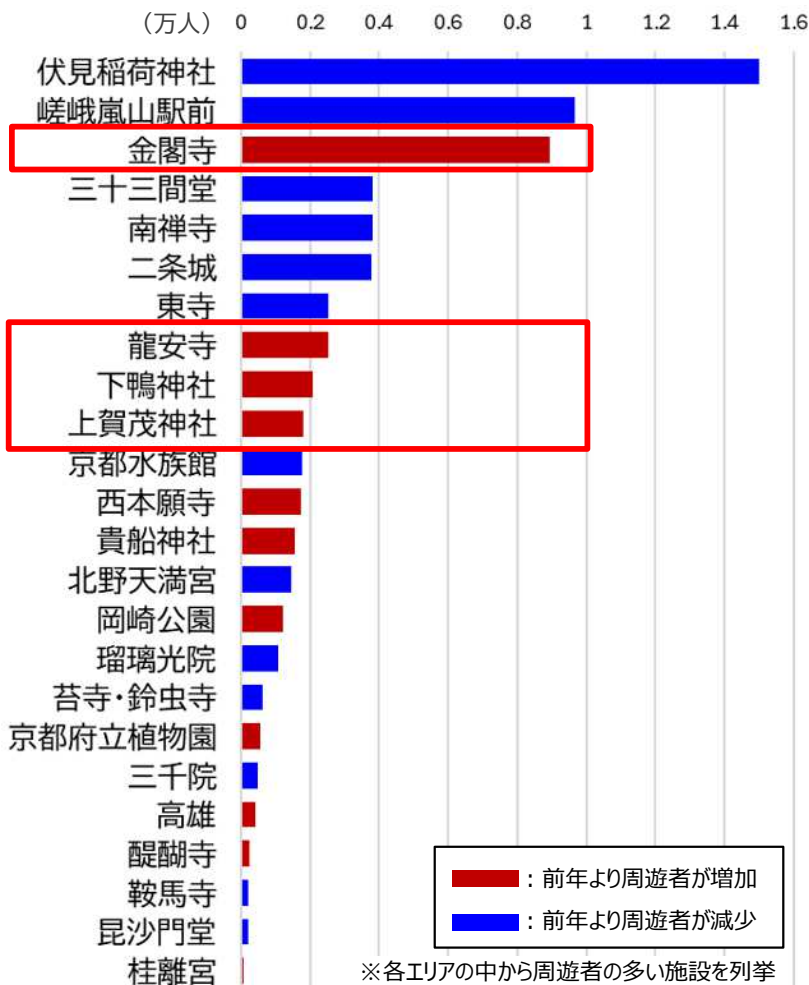
（出典）(株)ドコモ・インサイトマーケティング モバイル空間統計® 期間：令和5年11月全日，令和6年11月全日 10:00～17:59
数値は3次メッシュ（1km四方）における1時間以上の滞在者を示し、エリア名はメッシュ内に位置する代表観光地
国内観光客は集計対象メッシュ周辺に居住地または勤務地をもたない人を指す

人流点列データを活用した観光行動の把握

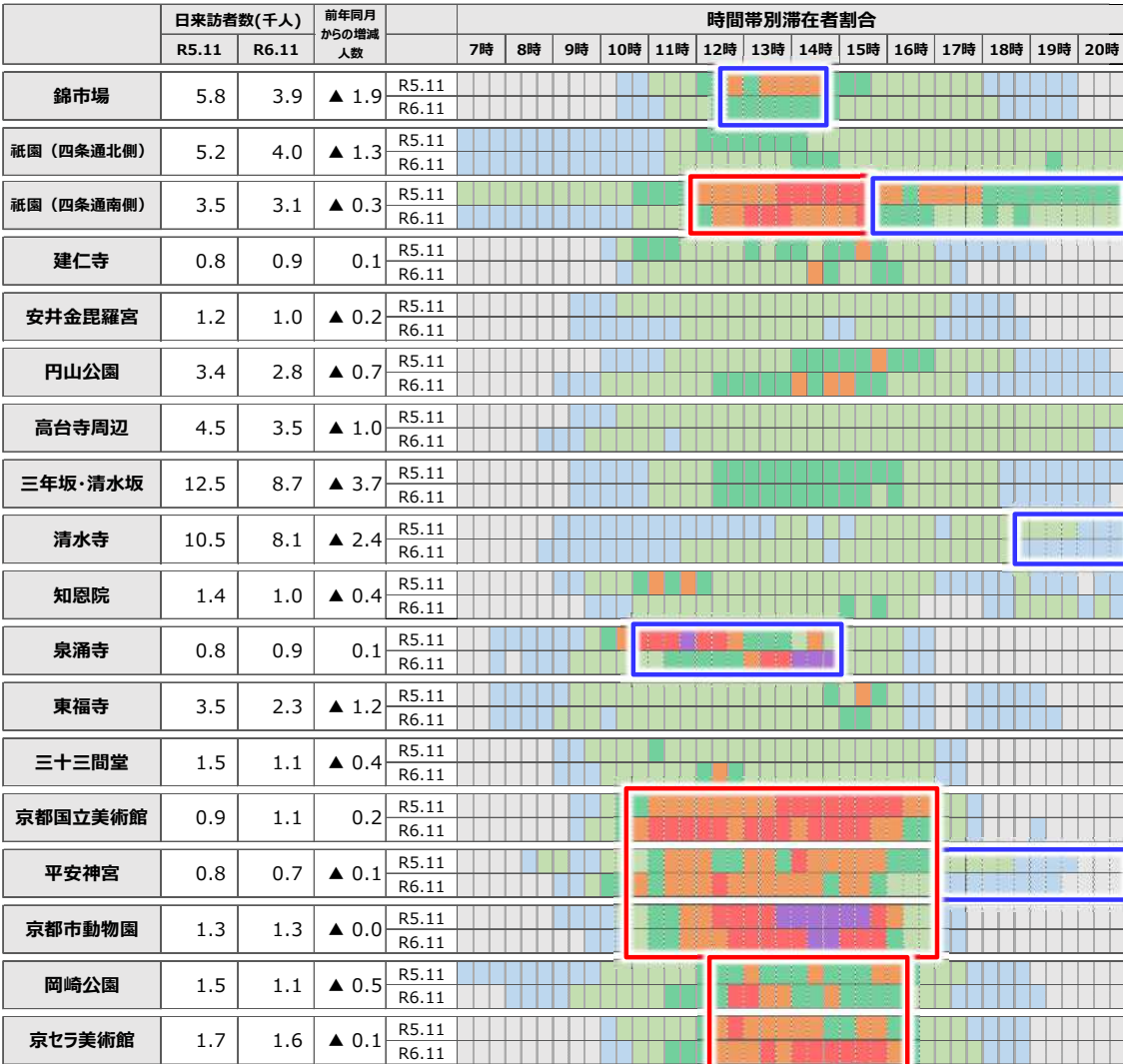
- 観光客の移動データを分析し、回遊ルート・滞在時間を明らかにすることで、ピーク時間帯や集中エリアを可視化。
- 得られた知見をもとに、混雑回避策や分散型観光の実現に向けた施策検討に活用する。

■周遊傾向の把握

分析例：三年坂・清水坂を訪れた観光客の主な周遊先



■滞在時間の傾向（分析例：東山エリア内の滞在者時間分布）



凡例： 3%未満 10%未満 20%未満 25%未満 30%未満 40%未満 40%以上

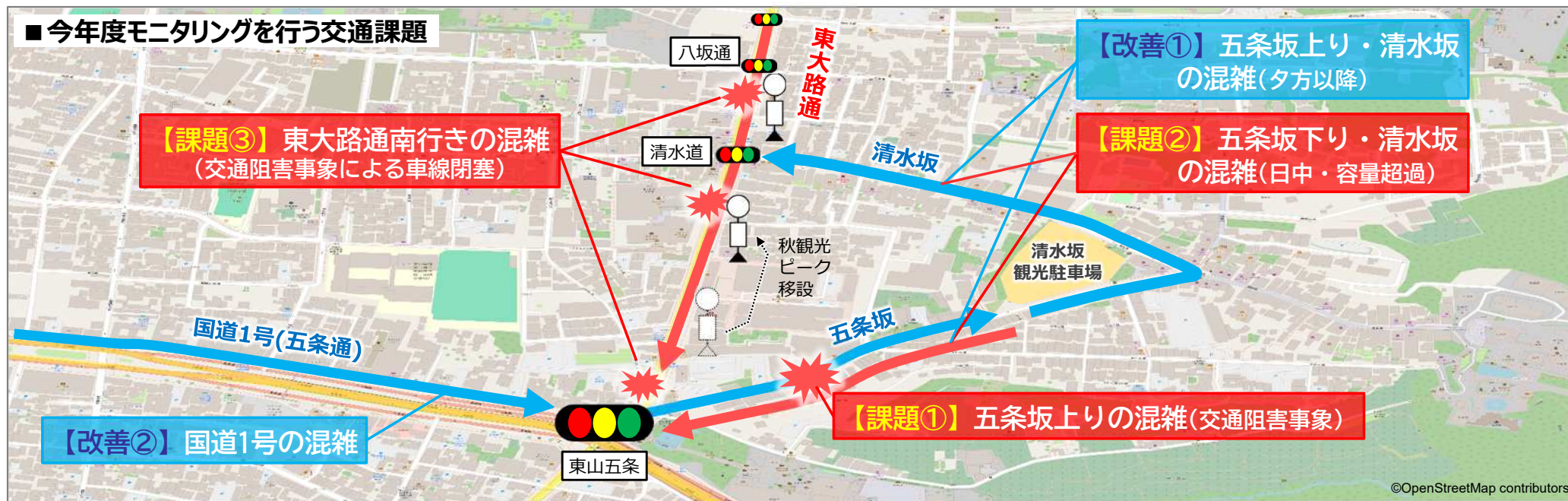
(出典) ジオテクノロジーズ 人流データ(点列データ) 対象期間：令和5年11月全日、令和6年全日
集計対象：観光客(京都市非関連者) 滞在条件：20分以上の滞在
※次の条件に当てはまらない人
①京都市居住または勤務者 ②2023年11月の1ヶ月間に7日以上京都市内を訪れた人 ③80歳以上

2. 東山地域における 交通実態の重点分析

R6年秋の交通状況を踏まえた課題整理とモニタリング方針

- R6年秋に改善が確認されたもの、また課題が残ったものについて、今年度も継続的にモニタリングを実施。
- その上で、東山交通対策の効果検証を行い、今後の改善策や展開に反映していく。

■今年度モニタリングを行う交通課題



【R6年秋に改善が見られた事象】 ➡ 引き続き状況をモニタリング

①五条坂上り・清水坂の混雑

夕方～夜間にかけての所要時間が昨年度から大きく改善

②国道1号の混雑

第2レーン（五条坂方面）や、その他レーンの旅行速度が昨年度から改善

【R6年秋に課題が残存した事象】 ➡ 対策の効果検証と新たな対策の検討

①五条坂上りの混雑

交通阻害事象による先づまり渋滞が発生 ⇒ その影響で大規模な滞留が発生

②五条坂下り・清水坂の混雑

流出部の信号交差点の容量を上回る交通が集中し、混雑が残存

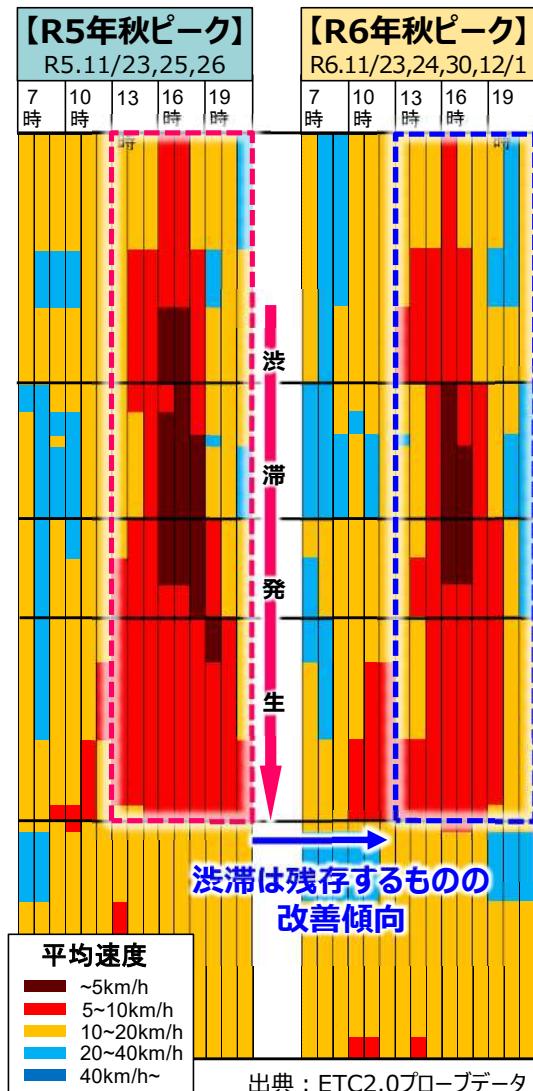
③東大通路南行きの混雑

右左折車滞留や路線バス長時間停車等の交通阻害事象により車線閉塞⇒渋滞発生

【東大路通】交通阻害事象のモニタリング方針

- R6年秋の東大路通南行きの交通状況は、各種対策の効果もあり**改善傾向**にあるものの、依然として**渋滞は残存**。
- 今後も**渋滞状況**や、その要因となる**交通阻害事象の発生状況をモニタリング**し、得られた知見を対策検討へとつなげる。

■東大路通南行きの速度状況



■東大路通南行きの交通阻害事象



- 八坂通交差点右折車滞留による直進車のウィービング・第二車線の閉塞
- 路駐等による第一車線の閉塞
- 路線バスの連担・長時間停車による第一車線の閉塞
- 東山五條交差点左折車滞留による第一車線の閉塞



3. 観光バス駐車場の 現状整理と分析の方向性

観光バス駐車場をめぐる現状と今後の展望

- 今後、**事前予約システム**や**満空情報提供システム**の導入・拡充を見据え、**観光バス駐車場の利用実態を把握しつつ、施策の効果検証**を行い、**将来的な展開へとつなげていく**ことを目指す。
- 京都市と役割を分担しながら、一体的な取組みとして推進する。

